

2019年度事業報告書

2019.4.1 — 2020.3.31



CASIO View



アフターコロナの 市場環境に対応し、 持続可能な会社を 目指します。

代表取締役 社長 櫻尾 和宏

Q 2019年度の業績を教えてください。

2019年度は、成長拡大事業(時計・教育関数)が順調に進捗し、収益改善事業の構造改革推進も効果を上げ、第3四半期までは極めて好調に推移しました。

新型コロナウイルス感染拡大で、生産・物流面の制約による出荷影響や需要・販売の減退の影響を受け、第4四半期、2019年度通期は減収減益となりましたが、コロナ禍の中でも主力商品である“G-SHOCK”は根強い人気を持ち、メタルモデルは通期で前

連結会計年度の業績

売上高	2,807億円	前期比 94%
営業利益	290億円	前期比 96%
経常利益	284億円	前期比 95%
親会社株主に帰属する当期純利益	175億円	前期比 79%

期比増収。中国では時計が通期で前期比22%増収と全体を牽引しました。関数電卓も売上は2020年度にずれ込みましたが、学生の必需品であることから、需要は安定しています。

Q アフターコロナを見据えた今後の取り組みを教えてください。

コロナ禍は、あと1年以上続くと仮定して取り組んでおります。アフターコロナの世界は、デジタル社会が急速に到来し、ワークスタイルやライフスタイル、人々の価値観が一変します。2020年度は、商品、事業構造、ビジネスモデルなど、全てを見直し、新しい時代に対応した新しいカシオとしてスタートを切るための準備をやり切ります。当社の強みを活かし、市場環境変化もチャンスと捉え、アフターコロナの市場環境に対応した成長し続ける会社を目指します。

Q 時計事業の今後の展開は？

成長拡大事業である時計事業は、世界中に多くのファンを持

アフターコロナ社会に対応した事業別中間ゴールイメージ

	売上高	営業利益	利益率
時計事業	2,000億円	400億円	20%
教育関数事業	550億円	80億円	15%
収益改善事業	600億円	30億円	5%
新規事業	100億円	50億円	
調整額		-80億円	
合計	3,250億円	480億円	

つ“G-SHOCK”の強みを活かし、コロナ前の右肩上がりの状態に戻します。

今後は、ユーザーを軸とした、商品づくり、バリューチェーン、サプライチェーン改革を進めます。また、コロナ前から取り組み、中国でも成功を収めたデジタルマーケティングを更に推し進め、“G-SHOCK”ファンとのダイレクトコミュニケーションを強化して、さらなる拡大を図ります。

また、新領域として、カシオらしいスマートウォッチを活用したスポーツ健康事業を立ち上げてまいります。

Q 教育関数事業の今後の展開は？

成長拡大事業である教育関数事業は、毎年入学する新入生に購入される安定したビジネスモデルを確立しています。

当社の強みは、関数電卓を活用した教育メソッドですが、オンライン授業への世界的な流れは追い風となっています。

WEBアプリの提供などにより当社の教育メソッドを教育現場へ浸透させ、未開拓エリアの開拓を加速させ事業の拡大を図ります。

Q 収益改善事業の見通しは？

収益改善事業は、事業を抜本的に見直し、構想改革を完遂し、

コロナ前の右肩上がりの状態へ戻す。

GAKUHAN再拡大。+WEBアプリビジネスの事業貢献。

事業を抜本的に見直し、構造改革完遂。継続的黑字体質へ。

カシオの強みを生かし、継続的に収益を上げられる新規事業を創出。

継続的黑字体質への転換を図ります。

市場の変化へ対応できる抜本的な事業構造改革の完遂を目的に、6月には専任組織を立ち上げました。アフターコロナの社会環境を踏まえたテーマを設定、実行して、構造改革に着実に取り組んでいきます。

Q 新規事業の今後の方針は？

売上重視の案件積み上げ型から、収益性とスピード重視に切り替えます。今一度、カシオの強み(シーズ)とドメイン(ニーズ)を明確にし、つなぎ直します。そして最適なパートナーと共創し、成功事例を生み出し、最小限の投資で最短で立ち上げ、最大の効果を上げることで、早期の収益力確立を図ります。

Q 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

当社は業績に連動した株主還元という方針の下、経営体制の強化を確実に進めます。安定配当を基本としており、2019年度通期の配当額は、据置き45円としました。

これまでの実績で築いた強固な財務基盤のもと、アフターコロナに向けて、2020年度、会社を最強の形に仕上げます。今後も株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営の革新に全力を尽くしてまいります。

時計事業

オンラインのメディア・流通戦略をグローバルに展開

今後、新型コロナウイルスをきっかけに、グローバルで市場環境や消費者のライフスタイルが大きく変化していくことが予想されます。当社の時計事業は、“G-SHOCK”という強いブランドを持っています。その強みを活かしアフターコロナに対応した事業構造へと変革を加速させていきます。

これまで当社の時計事業は、商品を軸に、店頭で販売を行い、広告・PRを通じてプロモーション活動を実施してきました。しかし、アフターコロナの社会ではデジタル化が急速に進み、それに対応した時計事業へと仕組みを変えていく必要があります。

これからは、ユーザーコミュニケーションを軸とした商品開発・プロモーション活動・販売へと、マーケティングの仕組みそのものを一新していきます。

メーカーからの一方的なコミュニケーションではなく、ユーザーとの双方向のコミュニケーションを築くことで、当社独自の

体験やサービスを提供し、ユーザーとともにブランドが創られていると感じてもらえるユーザーコミュニケーションに取り組んでいきます。

“G-SHOCK”では、ブランドの強みを活かしながら、“G-SHOCK”ファンとの絆を深めます。各地域・国のユーザーとの関わりをより深めるため、それぞれの文化やライフスタイルに合わせたローカルごとのカスタマイズ商品やコラボレーションモデルなどの展開も進めます。

また、プロモーション、販売流通においては、リアルイベントの開催や店舗での販促といった従来の集客型マーケティングと、独自の体験やサービスを伝えるSNSでのコミュニケーション、デジタルコミュニケーションとシンクロしたECサイトの強化を図っていきます。

既に中国では、ユーザーとのダイレクトコミュニケーションを



天猫スーパーブランドデイ

軸とした商品展開、プロモーション、オンライン・オフライン両輪での店舗運営を実施することで、“G-SHOCK”を中心に時計事業を大幅に拡大しています。

具体的には、中国の若者をメインターゲットとして、彼らに刺さる商品展開、プロモーション、流通戦略を組み立て、データマーケティングに基づいたターゲティング精度を向上させることで、ブランディングから実販までを目的として効率的なコミュニケーションを行っています。商品展開では、干支に合わせた新年モデルや、七夕でのペアウォッチ提案、若者文化と食文化を掛け合わせた商品企画と連動したカルチャー発信イベントを行うなど、中国の若者の嗜好にマッチする施策を実施することで、新たなファンを生み出すことに成功しました。

さらに、急激な成長を遂げている大手ECサイトを、単なるEC

サイトではなく巨大メディアと捉え、最大手の天猫(Tmall)などは販促プロモーションだけでなく、オフラインへも好影響を与えるブランドコミュニケーションの場としても活用しています。

今年5月9日に実施した天猫スーパーブランドデイでは、新商品の発表会をオンラインで実施したところ、天猫内での腕時計ブランド部門の取引額で過去最高の記録を更新するなど、好調な実績をおさめました。また、従来は若い男性中心だったユーザー層が、“BABY-G”などで女性にも拡大しており、引き続き時計事業全体を牽引する成長市場と位置付けています。

当社は、次なる未来に向けてユーザーコミュニケーションを軸に当社の時計ブランドならではの価値、体験、サービスを提供できるようマーケティング改革に取り組み、時計事業の継続的な成長拡大を図ってまいります。



中国での七夕向けペアウォッチ (“G-SHOCK”と“BABY-G”)

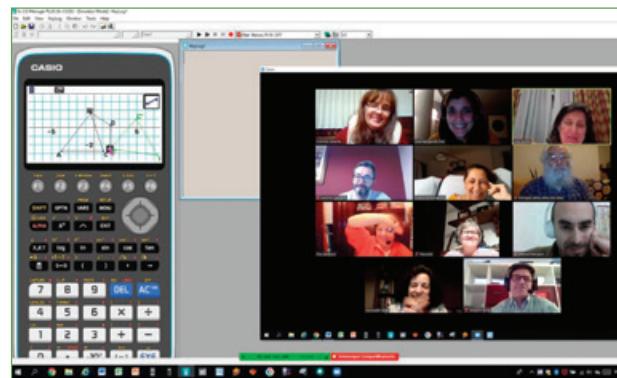
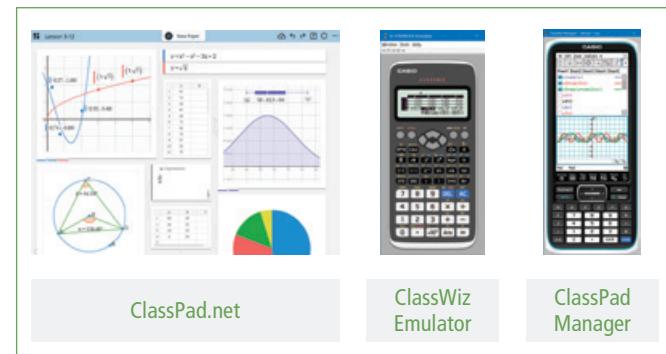
教育関数事業

教育のオンライン化をチャンスにかえて教育関数事業を拡大

新型コロナウイルス感染拡大防止のため全世界で休校措置がとられたことで、オンライン授業が一気に普及しました。当社の関数電卓は世界中の教師や生徒に使用されており、強い事業基盤を確立しています。教育関数事業では、アフターコロナで急速に拡大する教育のオンライン化に備え、ハードウェアに加えて、WEBアプリといったソフトウェアでの事業拡大を加速していきます。

これまで当社は、GAKUHANと呼ばれる関数電卓の啓蒙活動を世界各国で行ってきました。各国の教育関係者や教師へ数学授業での関数電卓の活用を働きかけ、カリキュラムや授業に当社の関数電卓を組み込んでもらうことで、毎年新入生が関数電卓を購入してくれる安定したビジネスモデルを築いています。

授業の必需品であることから、教育関数事業はコロナの影響を受けにくい事業構造であり、またアフターコロナのオンライン授業の加速を新たなビジネスチャンスと捉え、ソフトウェアとWEBアプリの展開を拡大し、関数電卓の需要拡大に取り組んでまいります。



数学教師へのオンライントレーニングの様子

4月には、教師向けにパソコンやタブレット上で関数電卓の動作を再現でき、オンライン授業に最適な関数電卓ソフトウェアの無償提供を開始しました。これにより、教師がソフトウェアで見た画面や描画したデータを見ながら、生徒が手で実際に操作するオンライン授業を定着させることで、ハードウェアの新規需要開拓につながります。

さらに、電子試験や電子教科書への対応として、関数電卓の開発で培った計算技術を応用した試験モジュールや数学学習ツールを試験運営会社や電子教科書の出版社に向けて販売もしています。既にアメリカの出版社に導入されており、今後も北米や欧州、さらにGIGAスクール構想が進む国内においても拡大していきます。

これまで当社が培ってきた資産やノウハウを活用しながら、アフターコロナの教育環境変化に対応したソリューションを提供し、教育事業の成長を目指してまいります。

新規事業

アシックスとランナー向け統合サービスを提供

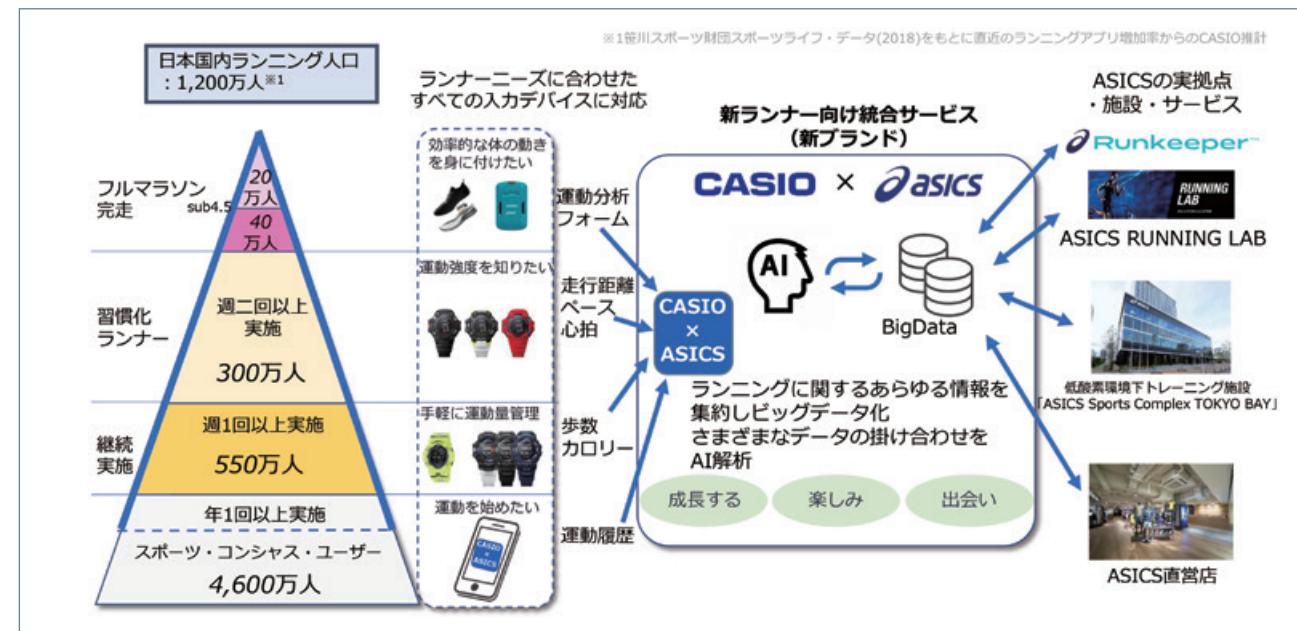
アフターコロナの世界では、これまで以上に人々の健康への意識が高まります。この需要を捉え、人々の健康や社会の活力を創造するべく、専任組織「スポーツ健康インキュベーションセンター」を立ち上げ、国内最大手のスポーツ用品メーカーである株式会社アシックスとの共創を強力に推し進めます。

当社は、機能性、デザイン性に優れたウェアラブルデバイスの開発や、人に関わるさまざまな情報を集積し、可視化するセンシング技術を強みとしています。

一方、アシックスはランナーの特徴を科学的に捉え、「目指すランナー」へのランニング能力向上をサポートするスポーツ

工学の知見と技術を有しています。

両社の強みを掛け合わせ、全てのランナーに向けて、成長を促し、楽しみ・出会いを提供する統合サービスを2020年度内にスタートさせます。リストデバイスやモーショントラッカーなどを開発するとともに、アプリを通じてあらゆる情報を集約し、ビッグデータ化。AIによりそれらのデータを解析します。各々のユーザーに最適なランニングフォームを提案するパーソナルコーチングなど、ハードウェアとソフトウェアとコミュニティの3つが揃った今までにないプラットフォームを構築してまいります。



※1 笹川スポーツ財団スポーツライフ・データ(2018)をもとに直近のランニングアプリ増加率からのCASIO推計

時計事業

2019年10月5日発売

Gショック
G-SHOCK
MTG-B1000XBD

MAIN PRODUCT

カーボン素材の積層ベゼルで強さと美しさを備えた“G-SHOCK”



メタルと樹脂の融合をテーマとした“MT-G”に、カーボン織材とカラーファイバー織材に樹脂を組み合わせたシートを幾層にも重ねて立体成形したベゼルを採用。角度によってさまざまな表情を楽しめます。

2019年10月18日発売

オシアナス
OCEANUS
OCW-S5000D

MAIN PRODUCT

青と琥珀色の江戸切子をベゼルの採用した薄型“OCEANUS”

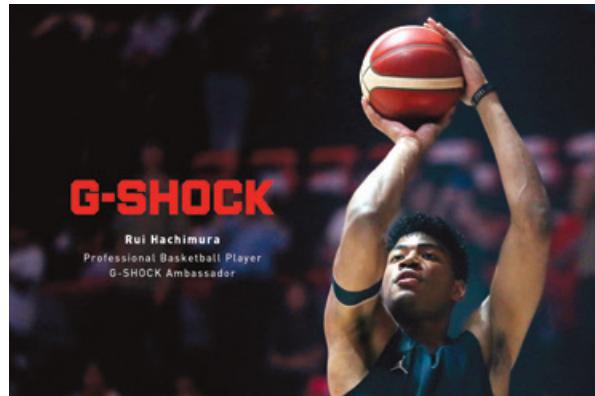


スリムで上質な“OCEANUS Manta”に職人の手作業でカッティングを施した江戸切子のベゼルの装着。新開発の琥珀色により、夕日が沈む都会の風景のような幻想的で美しいパターンを生み出しています。

TOPICS

八村 塁選手と“G-SHOCK”がグローバルパートナーシップ契約を締結

プロバスケットボールプレイヤー八村選手の日本から海外へと活躍の場を切り拓くタフな姿勢と挑戦心が“G-SHOCK”と共通することから、世界規模でのパートナーシップ契約を締結しました。以来、ポスターやPR動画への起用、SNSや店頭で直筆サイン入りグッズのプレゼントキャンペーンなどを催行し、“G-SHOCK”ユーザーとのコミュニケーション強化を果たしています。今後も、“G-SHOCK”は、タフに挑戦を続けるスポーツ競技や選手を支援していきます。



教育関連事業

TOPICS 1

インドネシア西スマトラ州にて数学教師向けのトレーニングを実施

当社は、2018年9月にインドネシアの教育文化省と『STEM※教育分野における教師及び学生の能力開発を目的としたパートナーシップ契約』を結びました。学販活動の一環として、2019年4月から西スマトラ州の高校数学教師を対象とした関数電卓のトレーニングを開始。各学校の授業に関数電卓を活用した授業を導入してもらうため、300校以上の数学教師に関数電卓の授業での有効的な活用方法や教材を紹介。数学授業での関数電卓使用の有益性を伝え、現地の数学教育に貢献するとともに、関数電卓の拡販を目指します。

※ Science・Technology・Engineering・Mathematics



TOPICS 2

カシオタイ工場にてインドネシア学生のインターンシップを受け入れ

2019年10月から12月の3か月間、カシオタイ工場にてインドネシア学生を受け入れたインターンシップを実施しました。2回目となる本インターンシップでは、20名の高校生を受け入れました。学生達は生産ライン実習による技術的なスキル習得に加えて、人事、経理、購買など各部門で研修を受け、工場マネジメント全般について学びました。終了式では、インドネシア大使館や教育省の関係者が来賓として参加し、学生達は習得したスキルの発表と“G-SHOCK”の組み立てを披露しました。



収益改善事業

2019年12月発売

ハンディターミナル
ET-L10

MAIN PRODUCT

一覧性に優れた
大画面を採用した
ハンディターミナル

スキャナを内蔵するとともに、5.7インチの大画面を採用しました。また、Android™ 9を搭載し、Google社のサービスやAndroid OS向け業務アプリも使用可能。操作性や携帯性、実用性を兼ね備えています。



2020年1月24日発売

エクスワード
EX-word
XD-SX4800

MAIN PRODUCT

Wi-Fiで手軽に
コンテンツを
追加できる電子辞書

シリーズで初めてWi-Fiに対応。あらかじめ収録されているコンテンツに加え、自分に必要な語学コンテンツ(別売)などを手軽にダウンロードして追加することができます。



TOPICS

楽器事業40周年を記念したコンテンツを公開

当社は、1980年に多彩な楽器の音色を奏でられる電子キーボード『Casiotone 201』で楽器市場に参入してから、今年で楽器事業40周年を迎えました。1月には40周年を記念したスペシャルサイトをグランドオープン。ミュージシャンとのコラボ企画や当社の電子楽器の歴史など、多数のコンテンツを掲載しています。また、アメリカのアナハイムにて1月16日から20日まで開催された「The NAMM Show 2020」でも、カシオブース内に40周年を記念したコーナーを設置しました。今後もアニバーサリーイヤーとして、楽器事業を盛り上げるさまざまな企画を実施していく予定です。



新規事業

2020年3月16日発売

ダーモスコープ
DZ-S50

MAIN PRODUCT

軽量かつ広範囲に皮膚観察ができる
ダーモスコープ*

直径40.5mmの大口径レンズを搭載し、広範囲の観察が可能です。また、簡単に着脱できるコンバージョンレンズにより、レンズ倍率を拡大し、小さな病変や病変内の細かい構造も観察できます。

* 皮膚疾患を診察する際に、皮膚の腫瘍やホクロなどの色素病変を観察するための専用の拡大鏡



TOPICS

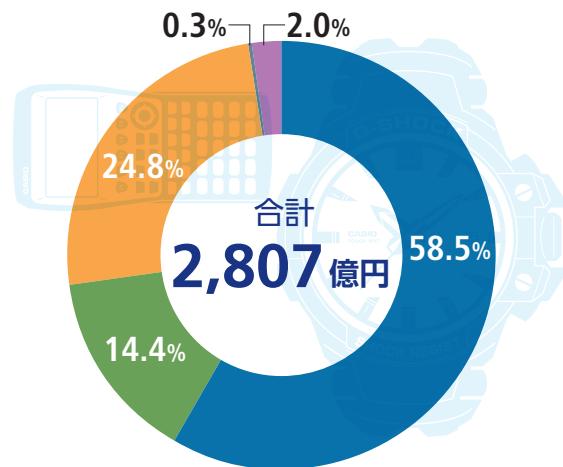
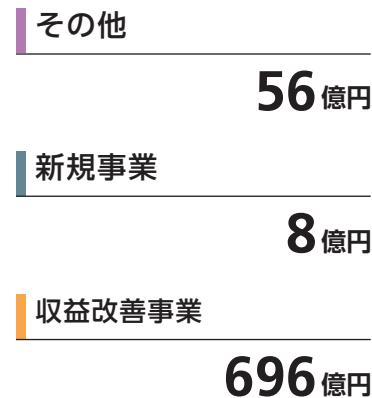
ウェアラブルEXPOにアシックスと共同出展

2月に開催されたウェアラブルEXPOにて、アシックスと共同開発中のランニング解析用のモーションセンサーと、フォームの可視化や最適なトレーニング方法を提案するアプリを初披露しました。ブースでは実際に走って試すことができ、来場者からは「自分のフォームをアプリ上で確認できたり、点数化できるのは面白い」と高評価でした。

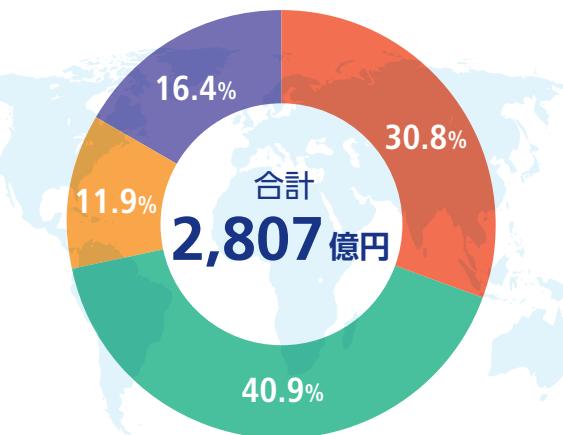
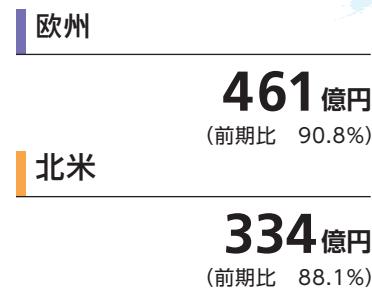
今後も実証実験を重ねてまいります。



売上高の事業別構成比



売上高の地域別構成比



■ 2020年度業績見通し(連結)

2021年3月期の業績予想は、現段階において新型コロナウイルス感染症拡大が業績に与える影響を合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

■ 要約貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(2020年3月31日現在)	(2019年3月31日現在)
流動資産	227,386	238,616
固定資産	106,714	118,914
有形固定資産	59,580	56,805
無形固定資産	8,459	8,978
投資その他の資産	38,675	53,131
資産合計	334,100	357,530
流動負債	87,068	82,763
固定負債	44,493	63,173
負債合計	131,561	145,936
株主資本	207,106	205,451
その他の包括利益累計額	△4,567	6,143
純資産合計	202,539	211,594
負債純資産合計	334,100	357,530

■ 要約損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(2019年4月1日から2020年3月31日まで)	(2018年4月1日から2019年3月31日まで)
売上高	280,750	298,161
営業利益	29,064	30,262
経常利益	28,481	29,894
親会社株主に帰属する当期純利益	17,588	22,135

■ キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(2019年4月1日から2020年3月31日まで)	(2018年4月1日から2019年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,047	20,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,695	△6,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,915	△16,934
現金及び現金同等物の期末残高	134,314	132,208

■ 財務指標

科目	連結会計年度	
	2019年度	2018年度
財政状態		
自己資本比率 (%)	60.6	59.2
D/Eレシオ* (倍)	0.31	0.33
その他		
設備投資額 (百万円)	5,404	6,338
減価償却費 (百万円)	5,646	6,092

* D/Eレシオ=期末有利子負債/期末自己資本

5年分の財務情報はホームページでご覧いただけます

<https://www.casio.co.jp/ir/>



投資家情報

財務情報

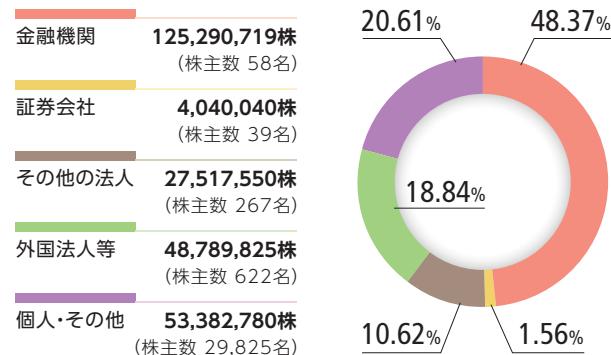
■株式の状況

(2020年3月31日現在)

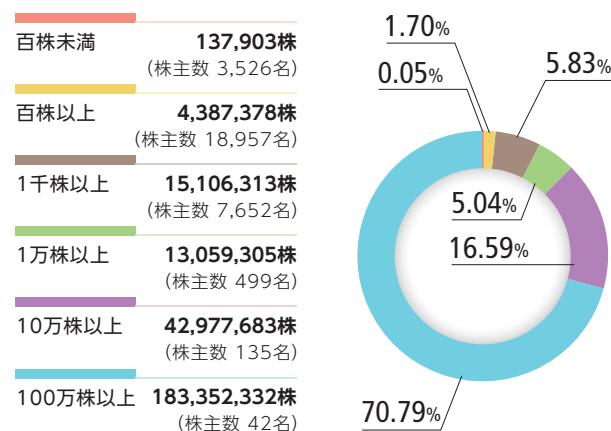
発行可能株式総数	471,693,000株
発行済株式の総数	259,020,914株
株主数	30,811名

■所有状況

所有者別内訳



所有株式数別内訳



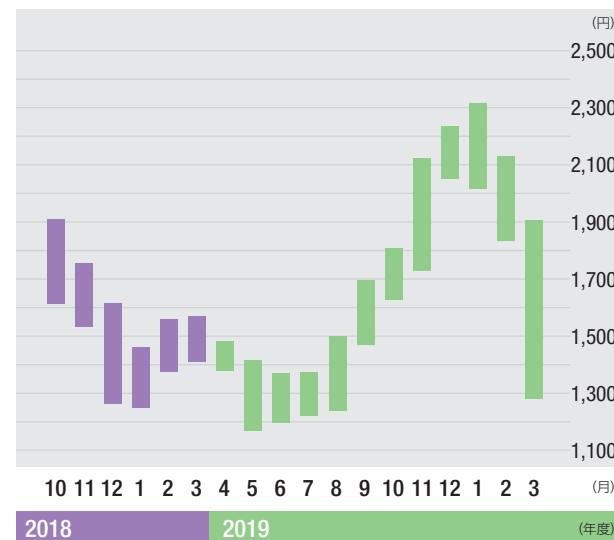
■大株主

(2020年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,351	14.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,192	6.68
日本生命保険相互会社	12,985	5.35
有限会社カシオプロス	10,000	4.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	7,000	2.89
株式会社SMBC信託銀行(株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	6,365	2.62
株式会社三井住友銀行	5,937	2.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	4,758	1.96
株式会社三菱UFJ銀行	4,097	1.69
JP MORGAN CHASE BANK 385151	3,761	1.55

(注1)持株比率は自己株式(16,454,020株)を控除して計算しております。また、自己株式は上記大株主からは除外しております。
 (注2)株式会社SMBC信託銀行(株式会社三井住友銀行退職給付信託口)の持株数6,365千株は、株式会社三井住友銀行が議決権行使の指図権を留保しております。

■株価の推移



会社概要

—2020年3月31日現在

商号	カシオ計算機株式会社	設立年月日	1957(昭和32)年6月1日
英文商号	CASIO COMPUTER CO., LTD.	資本金	48,592,025,877円
本社	東京都渋谷区本町一丁目6番2号 TEL: 03-5334-4111 (代表)	従業員数	11,193名(連結)

役員

—2020年6月26日現在

〈取締役〉

代表取締役	榎尾 和宏 (執行役員兼務)
取締役	山岸 俊之 (執行役員兼務)
	高野 晋 (執行役員兼務)
	榎尾 哲雄 (執行役員兼務)

社外取締役 尾崎 元規

取締役 監査等委員(常勤) 内山 知之

社外取締役 監査等委員 千葉 通子

社外取締役 監査等委員 阿部 博友

〈執行役員〉

社長	榎尾 和宏
専務執行役員	増田 裕一
常務執行役員	榎尾 隆司

執行役員	山岸 俊之	中山 仁	田村 誠治	鳴瀧 康正
	高野 晋	守屋 孝司	加藤 朋生	田中 徹
	榎尾 哲雄	稻田 能之	河合 哲哉	
	伊東 重典	井口 敏之	青鹿 行男	
	持永 信之	太田 伸司	篠田 豊可	

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎. 0120-782-031 (受付時間 平日午前9時～午後5時)
(ホームページ)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 下記の当社ホームページに掲載する。 https://www.casio.co.jp/ir/announce/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

株式に関する住所変更等の お届出及びご照会について

株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

本報告書に関するお問い合わせ先

カシオ計算機株式会社
ESG・総務部
TEL : 03-5334-4836

皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を当選させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6952

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた
携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する[e-株主リサーチ]サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 お問い合わせはメールにてお願いいたします。 MAIL : info@e-kabunushi.com

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C013080

Printing. Naturally.